

2024年12月向け短答ポイントアップ答練
財務会計論 第4回
訂正のご案内

この度は、LEC公認会計士講座をご利用頂き、誠に有難うございます。

2024年12月向け短答ポイントアップ答練(EA/B24315) 財務会計論 4回の下記教材に訂正事項がございましたので、お知らせ致します。

教材作成上の訂正事項が生じたことを、心よりお詫び申し上げます。今後改善に努めてまいりますので、受講生の皆様におかれましては、ご了承の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

短答ポイントアップ 答練 財務 4回 (EU24612、3)

問題8 エ

※該当箇所は、そのまま解答すると、エも誤りとなり、正解は「6」となりますが、問題文にこちらが意図しないものがあつたため、**全員正解**とさせていただきます。

なお、本問題を復習する際は、下記の修正を加えて下さい。

問題P8/26、解説P19/69

【誤】

エ. 通貨コール・オプション(想定元本100千ドル, 権利行使価格1ドル=141円)を1ドルにつき6円で買建てた。なお, 当該コール・オプションの前期末における時価は1ドルあたり6.6円であった。当期において当該コール・オプションの権利行使期日をむかえ, 権利行使をしたが, 当日の直物為替相場は1ドル=149円であったため, 為替差益140,000千円を計上した。

【正】

エ. 通貨コール・オプション(想定元本100千ドル, 権利行使価格1ドル=141円)を1ドルにつき6円で買建てた。なお, 当該コール・オプションの前期末における時価は1ドルあたり6.6円であった。当期において当該コール・オプションの権利行使期日をむかえ, 権利行使をしたが, 当日の直物為替相場は1ドル=149円であったため, 為替差益**140**千円を計上した。

～次ページへ～

【誤】

エ. ○ 正しい記述である

コール・オプションを権利行使した場合，前期末までのオプションの価値を差し引いた純額が権利行使日に認識する損益となる。そのため，為替差益を140,000認識することとなる。なお，仕訳(切放方式を前提)は以下のとおりとなる。

| | | | |
|----------|-------------|-----------|-------------|
| (借) 現金預金 | 800,000(*1) | (貸) 為替差損益 | 140,000(*2) |
| | | 買建通貨オプション | 660,000(*3) |

(*1) $100 \text{千ドル} \times (\text{権利行使日直物} @ 149 \text{円/ドル} - \text{権利行使価額} @ 141 \text{円/ドル})$
 $= 800,000$

(*2) $800,000(*1) - 660,000(*3) = 140,000$

(*3) 前期末時価 $100 \text{千ドル} \times @ 6.6 \text{円/ドル} = 660,000$

【正】

エ. ○ 正しい記述である

コール・オプションを権利行使した場合，前期末までのオプションの価値を差し引いた純額が権利行使日に認識する損益となる。そのため，為替差益を140認識することとなる。なお，仕訳(切放方式を前提)は以下のとおりとなる。

| | | | |
|----------|-----------------|-----------|-----------------|
| (借) 現金預金 | <u>800</u> (*1) | (貸) 為替差損益 | <u>140</u> (*2) |
| | | 買建通貨オプション | <u>660</u> (*3) |

(*1) $100 \text{千ドル} \times (\text{権利行使日直物} @ 149 \text{円/ドル} - \text{権利行使価額} @ 141 \text{円/ドル})$
 $= \underline{800}$

(*2) $\underline{800}(*1) - \underline{660}(*3) = \underline{140}$

(*3) 前期末時価 $100 \text{千ドル} \times @ 6.6 \text{円/ドル} = \underline{660}$